

10 これからの図書館を視野においた取組

(1) 横浜市立図書館アクションプラン中間振り返り

「横浜市立図書館アクションプラン」(以下「アクションプラン」という)は、「横浜市中期4か年計画」及び「横浜市教育振興基本計画」(ともに平成 22 年度策定)と連動し、質の高い図書館サービスの提供を図るための行動計画として、平成 23 年1月に策定されました。これは平成 22 年度から 26 年度までの5か年の具体的な取組を 17 の項目としてあげたものです。これらの達成のため、毎年図書館では「横浜市立図書館の目標」を設定し、年度末にはその達成状況を振り返ってきました。平成 25 年度はそれぞれの具体的取組の達成状況を検証し、アクションプラン中間振り返りを行います。これは平成 26 年度に実施する、次期アクションプラン策定に向けた準備の一つであり、横浜市の図書館サービスの今後の方向性を明らかにするために不可欠な作業です。

図書館や出版を取り巻く状況はアクションプラン策定後も刻々と変化しています。次期アクションプランの策定の際にはそれらの社会的状況を考慮し、また市民から寄せられる要望も参考にしながら、市民が必要とする資料・情報の提供を通じて市民生活を支援する、地域の情報拠点としての役割を果たすための取組を進めていきます。

【横浜市立図書館アクションプラン 具体的取組項目】

□司書の専門性を発揮したサービスの進展	□効率的で効果的な図書館の管理運営と環境整備
<ul style="list-style-type: none"> ◎蔵書再構成 5 か年計画の策定・実施 ◎子ども読書活動の支援・学校との連携 ○市民の学習活動・課題解決の支援 ○地域情報の収集・提供の推進 ○地域と連携した読書推進活動の充実 ○多文化サービスの展開 ○市民協働の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎司書人材育成計画の策定と人材育成の推進 ○次期図書館情報システム導入に向けた検討 ○指定管理者による運営状況の検証・評価 ○一部地域図書館の司書補助業務委託の導入 ○地域図書館の管理運営手法の総合的検討 ○自主財源の確保及び経費の節減 ○市民の意見が反映される仕組みづくり ○身近で便利な図書館サービスの充実の検討 ○図書館の設備改修・改善や耐震補強 ○市立図書館における業務内容の見直し

(2) 人材育成計画に基づいた研修の実施

平成 22 年9月に策定された「司書人材育成計画」は、平成 17 年に策定された「横浜市人材育成ビジョン」を受けて、図書館を取り巻く課題、新たな環境変化に的確に対応した司書育成計画の方針・取組の方向性を示しています。

市立図書館では、この「司書人材育成計画」に基づき、図書館が進める事業の内容や取組がさらに充実したものとなるよう、様々な研修を実施しています。平成 24 年度は、図書館における基本的なサービスを充実させるため、応対マナー研修や図書館資料選定研修等を実施しました。平成 25 年度は、図書館内で必要とされる聞き取りや説明力などの能力向上を目的に、「課題解決」をテーマとして、市民が求める資料・情報を提供できるよう、個々のスキルアップを目指します。課題解決支援・地域情報拠点機能を充実させるための司書の経験年数にあわせたレファレンス研修や、子ども読書活動の支援・学校との連携に必要な能力向上のためのブックトーク研修等を実施する予定です。